

地域創生イノベーター育成プログラム(東予)

水素社会エクステンションプログラム

ごあいさつ

愛媛県・広島県を中心とした産学民官金の23団体により構成される「しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム」では、各種の地域人材育成に向けた取組を行っており、今回は水素社会構築に向けた小規模プログラムを地元企業・市民の皆様に御用意させていただきました。ぜひ御参加ください。

開催趣旨

今治市と愛媛大学との提携によるTown&Gown構想の推進、海洋海事技術におけるカーボンニュートラルの推進、脱炭素先行地域の指定による再生可能エネルギーの活用方策等の動向を踏まえ、現在注目されている水素の活用に向けて、関係するキーパーソンを招聘し、「水素社会構築」のあり方について産学民官の枠を超えて検討していく。

会合情報

●対象者

- ・脱炭素社会構築や海洋海事技術導入の一環として水素技術の導入を検討されている方
- ・愛媛県・広島県内の地方自治体・経済団体・企業・NPO等に所属し、地域イノベーションの創出や未来社会構築のためのつなぎ人材(地域ハブ人材)の育成について興味のある方
- ・しまなみ未来社会人材育成プラットフォーム会員の皆様

●定員

30名

●日程及び会場(オンライン可)

令和7年12月22日(月) 13:00~16:30

今治地域地場産業振興センター

(愛媛県今治市旭町2丁目3-5, 0898-32-3337)

キーノートスピーチ

九州大学Q-PITと九州脱炭素研究会の果たす役割



九州大学 エネルギー教育研究機構
研究推進部門

准教授

本 山 宗 主

水素燃料ボイラの開発



三浦工業 ボイラ技術部
CNボイラ課

課 長

畑 中 宏 之

水素エンジンR&D(研究開発)センターの取組



ジャパンハイドロ

最高経営責任者

青 沼 裕

アンカー



愛媛大学 地域協働推進機構
地域専門人材育成・リカレント教育支援センター

副センター長 **正 本 英 紀**

【備 考】

このプログラムは、広報等の展開や地域の需要や定着の可能性、運営手法に関する検証を行うため、試験的に実施されます。開催中は時間や人数の計測等の調査を行っていますので御了承くださいますようお願いいたします。

会合の流れ

① キーノートスピーチ(13:00-16:00)(50分×3名)

講師から、議題の基となる今治・呉地域における人材育成の状況や、地方におけるリカレント教育事例などの情報を出していただきます。講義終了後に名刺交換が可能です。

② ディスカッション(30分)

キーノートスピーチのテーマを中心に、参加者の皆様から意見も交えながら、アンカーのコーディネートにより意見をまとめていきます。

申込先(12月18日(木)までに下記のアドレスから所属・氏名・連絡先アドレスを記入の上お申込ください。)